

設計図書等に対する質問及び回答

工事番号 都54

工事名 橋本榎原地内排水路改良工事

番号	質問内容	頁	回答
1	集水樹 現場打ち集水樹・街渠樹（本体）は、無筋構造物と捉えるかそれとも小型構造物と捉えるか明確な記述がないため教示願います。	本工事費 内訳書 頁-4	どちらの構造であっても同じ積算方法であり、積算金額に差異は生じないため、記述していません。
2	コンクリート削孔 削孔系100mm以上110mm未満、削孔深さ50mm以上200mm未満 削孔系180mm以上200mm以下、削孔深さ50mm以上200mm未満 それぞれの施工は現場施工と推察しますが、明確な記述がないため教示願います。	本工事費 内訳書 頁-6	現場施工を想定しています。
3	借地料 単価を教示願います。	本工事費 内訳書 頁-10	3,900円/月です。
4	大型フリューム 幅1400mm 高さ1000mm 長2000mm 浮力対応型 見積単価を開示願います。	施工単価表 第 009号頁-21	製品1個あたり96,000円です。
5	大型フリューム 幅1400mm 高さ1000mm 長2000mm 浮力対応型 製作（1本程度/日）から製品養生、現場搬入までに3ヶ月程度の日数が必要と想定されています。このことにより、現況工期内の施工は困難が見込まれます。 受注後の協議による工期延長は可能であるか教示願います。	無し	工期延長については協議理由等によって判断します。

設計図書等に対する質問及び回答

工事番号 都54

工事名 橋本榎原地内排水路改良工事

番号	質問内容	頁	回答
1	<p>統括情報表について                      施工地域欄において「19補正なし」とありますが、現地確認したところ「No. 19+0.1～No. 19+8.0」の現道には、車両の通行が認められます。よって同欄は、「13一般交通等の影響あり②」に該当するかと推察します。これは、受注後の協議に於いて設計変更の対象と成り得るのか教示願います。</p>	頁-1	<p>荷下ろし時などに一時的に待ち時間が発生する可能性はありますが、交通量は極めて少ないこと、車線変更を促す規制は伴わないと想定していることから、施工地域を考慮した補正は適用していません。</p>
2	<p>EP (No. 21+13.6) 付近既設電柱について                      現況においては、河川土工法面成形工の支障と成り得る可能性があります。                      設計に於いては、支障とならないという判断でしょうか。教示願います。</p>	図面番号第4枚内1号	<p>支障にならないと判断していますが、施工上の問題がある場合は、協議してください。</p>
3	<p>設計記載外の既設構造物について                      現地を確認したところ以下の構造物の存在を確認しました。                      a) 4列2段構造、現況水路右岸「No. 20+21.5～同+37.5付近」                      b) 法面保護コンクリート（張コンクリート）現況水路右岸「No. 20+37.5～同+35.9付近」SL=1.7m程度、t =不明                      これは、受注後の協議に於いて設計変更の対象と成り得るのか教示願います。</p>	無し	<p>施工上対応が必要となる場合は、設計変更の対象となりますので、協議してください。</p>
4	<p>現況水路右岸の湧水について                      現地を確認したところ、上記の既設フトン竈よりEP (No. 21+13.6) にかけて湧水の出現及びその痕跡が認められます。法面成形施工に支障をきたす可能性があるため、何らかの処置が必要と考えますが、受注後の協議に於いて設計変更の対象と成り得るのか教示願います。</p>	無し	<p>現場条件に差異があり施工困難な場合は、設計変更の対象となりますので、協議してください。</p>

設計図書等に対する質問及び回答

工事番号 都54

工事名 橋本榎原地内排水路改良工事

番号	質問内容	頁	回答
1	<p>設計図面と数量計算書との記述の相違について</p> <p>図面記述 右水路 B250×W250 No. 19+0.0 計算書記述見え消し</p> <p>図面記述 右 VPφ70 No. 19+9.9 計算書記述</p> <p>左 VPφ70 No. 19+9.9</p> <p>図面記述 左 VPφ70 No. 19+10.3 計算書記述</p> <p>右 VPφ70 No. 19+10.3</p> <p>図面記述 左 VPφ70No. 19+39.7 計算書記述</p> <p>右 VPφ70 No. 19+39.7</p> <p>図面記述 右 VPφ70 No. 20+3.7 計算書記述</p> <p>左 VPφ70 No. 20+3.7</p> <p>図面記述 右 VPφ70 No. 20+16.2 計算書記述</p> <p>左 VPφ70 No. 20+16.2</p> <p>図面記述 左 HPφ600 No. 20+23.3 計算書記述</p> <p>記述無し</p> <p>図面記述 左 HPφ400 No. 20+29.0 計算書記述</p> <p>記述無し</p> <p>現地を確認したところ、水路及びVPφ70に関しては計算書記述が正と思われる。 正答を教示願います。</p>	<p>図面番号第4枚内2号 数量計算書 (水路工延長調書) (構造物撤去工延長調書)</p>	<p>「右水路 B250×W250 No. 19+0.0」は施工範囲外です。また、「VPφ70」に関しては計算書記述が適当です。 「図面記述 左HPφ600No. 20+23.3」及び「図面記述 左HPφ400No. 20+29.0」を撤去した場合の復旧については、管理者との協議により決定します。実施の場合は指示書による指示を行います。</p>
2	<p>構造物撤去工集計表</p> <p>HPφ600並びにHPφ400の数量が計上されていません。 HPφ600 V=単位数量0.1021m<sup>3</sup>/m×延長(設計図書記述なく不明)</p> <p>HPφ400 V=単位数量0.0478m<sup>3</sup>/m×延長(設計図書記述なく不明)</p> <p>これは、受注後の協議によって設計変更対象となるとの考え方で良いのか教示願います。</p>	<p>数量計算書 (構造物撤去工集計表) (構造物撤去工延長調書)</p>	<p>施工上対応が必要となる場合は、設計変更の対象となりますので、協議してください。</p>
3	<p>仮設工工事用道路工について</p> <p>a) 標準断面図に因れば左岸側に設置すると見受けられますが、その是非について。</p> <p>b) 横断面図に記載がない理由。</p> <p>c) 借地契約完了の成否。</p> <p>上記三点について教示願います。</p>	<p>図面番号第4枚内3号</p>	<p>a) 工事用道路の設置については任意施工の範疇ですが、右岸側の設置を想定しています。</p> <p>b) 工事用道路の設置については任意施工であり、横断面図には明記していません。</p> <p>c) 借地については受注後に請負業者と地権者の間で調整願います。</p>
4	<p>工事施工の周知について</p> <p>地元住民、工事箇所周辺の農地所有者及びその他関係者(自治会長・実行組合等)への周知完了の有無。近隣の小学校・保育園・老人福祉施設への周知完了の有無について教示願います。</p>	<p>無し</p>	<p>請負業者の決定後に工事周知を行う予定です。ただし、改良区への事前協議は行っています。</p>

設計図書等に対する質問及び回答

工事番号 都54

工事名 橋本榎原地内排水路改良工事

番号	質問内容	頁	回答
1	<p>設計図面と本工事費内訳書との相違について            図面番号第4枚内2号に於いては、左岸側No. 20+29.0にHPφ400を施工する記述がありますが、本工事費内訳書並びに数量計算書には記載がありません。            いずれが正なのか不明ですので教示願います。</p>	<p>図面番号第4枚内2号            本工事費 内訳書頁-5            数量計算書            (水路工延長調書)</p>	<p>図面に記述はありますが、当該箇所を撤去した場合の復旧については、管理者との協議により決定します。実施の場合は指示書による指示を行います。そのため、本工事内訳書並びに数量計算書には記載しておりません。</p>